

2023年12月4日

防 衛 省
防衛大臣 木原 稔 様

九州防衛局
局 長 江原 康雄 様

佐賀空港オスプレイ等配備に反対する裁判を支援し、
ともにたたかう市民の会
佐賀空港への自衛隊オスプレイ等配備反対地域住民の会

屋久島沖での米軍オスプレイ墜落事故を受け、すべてのオスプレイ運用中止と 佐賀空港への配備計画撤回等を求める申し入れ

11月29日午後、鹿児島県屋久島沖で米軍の輸送機オスプレイが墜落しました。機体は海上で大破し1人が死亡、残る7人の乗組員の捜索が続いています。機体は米軍横田基地に所属する CV22 オスプレイで、屋久島町を目撃者によると「屋久島空港の方向に向かって飛んでいたオスプレイが突然ひっくり返り、その直後に左翼側のプロペラのあたりから火が出てその部分が爆発し、そのまま海に落ちていった」といいます。付近住民も乗組員も生命を脅かされるきわめて凄惨な重大事故が起きてしまいました。

オスプレイをめぐるのは、昨年来、米海兵隊 MV22 オスプレイによる墜落事故があいつぎ、8月27日にはオーストラリア北部で米・豪の共同訓練中に墜落し3人が死亡、5人が重軽傷を負っています。CV22 オスプレイも昨年クラッチの不具合が多発し、米空軍は横田基地配備の6機をふくめ全52機を一時地上待機させています。また今年9月以降、在日米軍の MV22 オスプレイが奄美空港、新石垣空港、大分空港にあいついで緊急着陸するも、原因究明や対策が不十分なまま飛行再開しています。

こうしたオスプレイの構造上の欠陥や操縦の難しさを幾度も指摘されながら、「米国が安全というから安全」と日本国内での飛行容認を続けた結果、引き起こされた大惨事です。今回の墜落死亡事故後も「捜索活動」と称して米軍オスプレイが日本上空を飛行していることに対し、日本政府は米国に毅然と抗議をするべきです。下記について申し入れます。

1. 米軍・陸上自衛隊オスプレイのすべての運用をただちに中止し、事故原因を明らかにすること
2. 佐賀空港への陸上自衛隊オスプレイ等配備計画を撤回し、駐屯地建設工事を中止すること

2023年12月4日

佐賀県知事

山口 祥義 様

佐賀空港オスプレイ等配備に反対する裁判を支援し、
ともにたたかう市民の会
佐賀空港への自衛隊オスプレイ等配備反対地域住民の会

屋久島沖での米軍オスプレイ墜落事故を受け、すべてのオスプレイ運用中止と 佐賀空港への配備計画撤回等を求める申し入れ

11月29日午後、鹿児島県屋久島沖で米軍の輸送機オスプレイが墜落しました。機体は海上で大破し1人が死亡、残る7人の乗組員の捜索が続いています。機体は米軍横田基地に所属するCV22オスプレイで、屋久島町を目撃者によると「屋久島空港の方向に向かって飛んでいたオスプレイが突然ひっくり返り、その直後に左翼側のプロペラのあたりから火が出てその部分が爆発し、そのまま海に落ちていった」といいます。付近住民も乗組員も生命を脅かされるきわめて凄惨な重大事故が起こってしまいました。

オスプレイをめぐるのは、昨年来、米海兵隊MV22オスプレイによる墜落事故があいつぎ、8月27日にはオーストラリア北部で米・豪の共同訓練中に墜落し3人が死亡、5人が重軽傷を負っています。CV22オスプレイも昨年クラッチの不具合が多発し、米空軍は横田基地配備の6機をふくめ全52機を一時地上待機させています。また今年9月以降、在日米軍のMV22オスプレイが奄美空港、新石垣空港、大分空港にあいついで緊急着陸するも、原因究明や対策が不十分なまま飛行再開しています。

こうしたオスプレイの構造上の欠陥や操縦の難しさを幾度も指摘されながら、「米国が安全というから安全」と日本国内での飛行容認を続けた結果、引き起こされた大惨事です。今回の墜落死亡事故後も「捜索活動」と称して米軍オスプレイが日本上空を飛行していることに対し、日本政府は米国に毅然と抗議をするべきです。

私たちは山口祥義佐賀県知事に対し、下記について申し入れます。

1. 米軍・陸上自衛隊オスプレイのすべての運用をただちに中止し、事故原因を明らかにするよう政府に要請すること
2. 佐賀空港への陸上自衛隊オスプレイ等配備計画を撤回し、駐屯地建設工事中止を政府に要請すること

2023年12月4日

佐賀市長

坂井 英隆 様

佐賀空港オスプレイ等配備に反対する裁判を支援し、
ともにたたかう市民の会
佐賀空港への自衛隊オスプレイ等配備反対地域住民の会

屋久島沖での米軍オスプレイ墜落事故を受け、すべてのオスプレイ運用中止と 佐賀空港への配備計画撤回等を求める申し入れ

11月29日午後、鹿児島県屋久島沖で米軍の輸送機オスプレイが墜落しました。機体は海上で大破し1人が死亡、残る7人の乗組員の捜索が続いています。機体は米軍横田基地に所属するCV22オスプレイで、屋久島町の日撃者によると「屋久島空港の方向に向かって飛んでいたオスプレイが突然ひっくり返り、その直後に左翼側のプロペラのあたりから火が出てその部分が爆発し、そのまま海に落ちていった」といいます。付近住民も乗組員も生命を脅かされるきわめて凄惨な重大事故が起きてしまいました。

オスプレイをめぐるのは、昨年来、米海兵隊MV22オスプレイによる墜落事故があいつぎ、8月27日にはオーストラリア北部で米・豪の共同訓練中に墜落し3人が死亡、5人が重軽傷を負っています。CV22オスプレイも昨年クラッチの不具合が多発し、米空軍は横田基地配備の6機をふくめ全52機を一時地上待機させています。また今年9月以降、在日米軍のMV22オスプレイが奄美空港、新石垣空港、大分空港にあいついで緊急着陸するも、原因究明や対策が不十分なまま飛行再開しています。

こうしたオスプレイの構造上の欠陥や操縦の難しさを幾度も指摘されながら、「米国が安全というから安全」と日本国内での飛行容認を続けた結果、引き起こされた大惨事です。今回の墜落死亡事故後も「捜索活動」と称して米軍オスプレイが日本上空を飛行していることに対し、日本政府は米国に毅然と抗議をするべきです。

私たちは佐賀空港立地自治体の坂井英隆佐賀市長に対し、下記について申し入れます。

1. 米軍・陸上自衛隊オスプレイのすべての運用をただちに中止し、事故原因を明らかにするよう政府に要請すること
2. 佐賀空港への陸上自衛隊オスプレイ等配備計画を撤回し、駐屯地建設工事中止を政府に要請すること